

お盆(盂蘭盆)

お盆

亡くなられた先人たちのご恩に対し、あらためて思いを寄せるのがお盆である。

親鸞聖人は仰せになる。
願土にいたればすみやかに
無上涅槃を証してぞ

すなはち大悲をおこすなり
これを回向となづけたり

浄土へと往生した人は、如来の願力によってすみやかにさとりをひらき、大いなる慈悲の心をおこす。

迷いのこの世に還り来たり、私たちを真実の道へ導こうと常にはたかられるのである。

仏の国に往き生まれていった懐かしい人たちは、仏のはたらきとなって、いつも私とともにあり、私をみまもっていてくださる。

このお盆を縁として、すでに仏となられた方々のご恩をよろこび念仏申すばかりである。

法語の世界

〈原文〉

同じく仰せられ候ふ。当時ことばにては安心のとほりおなじやうに申され候ひし。しかれば、信治定の人に紛れて、往生をしそんずべきことをかなしく思し召し仰せられ候ふよし仰せられ候ふ。

(蓮如上人御一代記聞書 百八十三)

〈現代語訳〉

蓮如上人は、「ただいま、どなたも口では、安心について受けとめているところを同じように申された。そのように言葉の上だけで同じようにしているから、信心が定まった人ともまぎれてしまい、往生することができない。わたしはそのことを悲しく思うのである」と仰せになりました。

〈用語の解説〉

信治定……信心が決定すること。信心がたしかに定まらぬこと。

鞍岡の夏とは思えないような暑い日が続きますね。連日真夏日になっています。家の中では裸足で過ごします。夕方、本堂にお参りに行くとき外陣の畳が暑く感じます。例年にないことで驚いています。

また、日中一番気温が高くなる頃は普段と比べると、当山前の県道を通る人や車が少なく、暑いから活動されないのかなとも思っています。

そんな暑さも鞍岡ではお盆までだったのですが、今年はどうなるのでしょうか？今年はお盆のお参り数が例年に比べると多いのでできればお盆から涼しいといいけどなと思っています。

お盆といえば、先日、何かの本を読んでいると

浄土真宗はお盆は忙しくなくていいね。

うちはお盆前には精霊棚を作り、十三日にはお墓に精霊さんをお迎えに行き、お盆の期間中は精霊棚のお給仕をし、十五

日にはお墓まで精霊さんを送っていかないといけない。浄土真宗はそれがありません。から忙しくないよね。とありました。

鞍岡では波帰地区は精霊棚を設置されますが、それ以外の地区は精霊棚を設置されません。もちろん、浄土真宗では精霊棚は必要ないし、お墓にお迎えや送りも必要ありません。それは、阿弥陀さまのお慈悲をいただいて、お浄土へ救われ悟りの智慧を頂かれた方々は、成仏してない精霊さんではないし、還相回向の利益のはたらきをされますから、常に迷いの世界で苦悩している私たちの身を案じてお浄土からこの娑婆世界に還り来て私たちを救うために活動していらっしゃるのです。必要ないのです。

そんなみ教えを示す『拝読浄土真宗のみ教え』から「お盆」の法話をお届けしました。

二〇一五年秋季彼岸会法要のお知らせ

とき	九月二十三日(水)	十時〜
ところ	金光寺本堂	
勤行	正信念仏偈(草譜)	六首引き
講師	未定	
持参品	門徒式章 聖典(お経本)	
その他	彼岸会法要は金光寺仏教婦人会の定例会になっています。ご参詣ください。一般門信徒の皆さんのご参詣もお待ちしております。ご家族おそろいでお出てください。	

8月の二十四節気と七十二候

(は二十四節気・は七十二候)

立秋(りっしゅう・8月8日)
秋の気配が少しずつ感じられる頃。
涼風至(すずかぜいたる・初候・8月8日~12日頃)
夏の暑い風から、秋の涼しい風に替わりはじめる頃。
寒蝉鳴(ひぐらしなく・次候・8月13日~17日頃)
夏の終わりを告げるかのように、ヒグラシが鳴いている頃。
蒙霧升降(ふかきりまとう・末候・8月18日~22日頃)
森や水辺に白く深い霧がたちこめる頃。

処暑(しよしょ・8月23日)
暑い暑さの峠を越した頃。
綿柵開(わたのはなしべひらく・初候・8月23日~27日頃)
綿を包む柵が開き始める頃。
天地始肅(てんちはじめてさむし・次候・8月28日~9月2日頃)
ようやく暑さが静まる頃。
禾乃登(こくものすなわちみのる・末候・9月3日~7日頃)
日に日に稲穂の先が重くなってくる頃。